

2020年11月6日

上場会社名 ヒビノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ長 (氏名) 大関 靖 TEL 03-3740-4391
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,521	△34.9	△3,017	—	△2,234	—	△1,679	—
2020年3月期第2四半期	19,220	32.4	777	51.0	760	15.0	400	2.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,666百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 290百万円 (△36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△169.43	—
2020年3月期第2四半期	40.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,421	8,338	25.3
2020年3月期	33,384	10,283	30.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,202百万円 2020年3月期 10,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の配当予想につきましては、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△24.1	△3,800	—	△2,800	—	△2,300	—	△232.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Hibino Europe B.V. 、 除外 1 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	10,265,480 株	2020年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	377,600 株	2020年3月期	306,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,912,515 株	2020年3月期2Q	9,959,539 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い社会経済活動が停滞し、景気は急速に悪化しました。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく局面であります。当面の間は、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

当社グループを取り巻く環境においては、東京オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、コンサートやイベントが開催できない状態が継続するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大は人を集める産業全体に甚大な影響を及ぼしました。日本政府は、2020年2月26日にイベントの開催自粛を要請した後、6月19日には1,000人以下、7月10日以降は5,000人以下でイベントが開催できるよう段階的に制限を緩和してきました。そして9月19日からのさらなる制限緩和により、5,000人を超えるイベントも可能になりましたが、先行きの不透明感は払拭されていません。

このような状況のもと当社グループ(当社と連結子会社21社)は、日本政府による緊急事態宣言発令期間において国内の拠点を原則として休業とするとともに、徹底した緊縮経営と十分な手元資金の確保に努めました。

新型コロナウイルス感染症に係る事業活動及び業績への影響は、セグメントごとに異なっております。電気音響・販売施工事業は、主力のコンサート音響市場やシネマ市場等で冷え込みが目立つなど、やや影響を受けましたが、受注済みの大型案件の進行が中心の建築音響・施工事業及び映像製品の開発・製造・販売事業は、影響は軽微でありました。コンサート・イベントサービス事業は、イベントの開催制限・自粛の影響を直接的に受け、極めて厳しい状況が続きました。

売上高が落ち込む中、利益面においては、役員報酬の減額をはじめ人件費、その他管理可能コストの削減をグループ全体で実施しております。また、休業に伴う助成金収入を営業外収益に計上しております。

なお、必要運転資金については、現時点で十分な手元流動性を確保しておりますが、新型コロナウイルス問題の長期化に備え、金融機関との間で50億円のコミットメントライン契約を締結し、財務基盤のより一層の安定を図っております。

これらの結果、売上高12,521百万円(前年同四半期比34.9%減)、営業損失3,017百万円(前年同四半期は営業利益777百万円)、経常損失2,234百万円(前年同四半期は経常利益760百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,679百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益400百万円)となりました。

なお、2019年2月28日に行われたTLS PRODUCTIONS, INC.との企業結合について、前第2四半期連結累計期間に暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同四半期との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額を用いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[電気音響・販売施工事業]

電気音響・販売施工事業は、前期からの進行案件や受注済み案件については計画どおりに進捗しましたが、緊急事態宣言発令期間において大幅に業務を縮小するなど、通常の営業活動ができない状態が続きました。

市場別では、主力のコンサート音響市場やシネマ市場で冷え込みが目立ち、売上の基礎となる流通商品の販売も軟調に推移いたしました。一方、Web会議やライブ配信関連商品の需要が伸びるなど、明るさが見える市場もありました。

利益面では、収益性の高いコンサート音響市場の落ち込みが、全体の売上総利益率の低下を招きました。

これらの結果、売上高6,691百万円(前年同四半期比10.3%減)、セグメント損失251百万円(前年同四半期はセグメント損失60百万円)となりました。

[建築音響・施工事業]

建築音響・施工事業は、受注済みの案件について、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に休工や着工延期が生じたものの、概ね計画どおりに進捗いたしました。ホール等の建築音響工事をはじめ、自動車メーカー、電機メーカーの音響実験室工事、清掃工場の防音工事等を手掛けましたが、前年同四半期に収益性の高い大型案件が集中していたことから、売上高及び利益は前年同四半期を下回りました。

これらの結果、売上高3,539百万円(前年同四半期比12.9%減)、セグメント利益93百万円(前年同四半期比71.8%減)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まっております。東京オリンピック・パラリンピック関連の仮施設をはじめ、アパレル店舗向け、新設アリーナ向けの大型案件を着実に遂行し、売上高及び利益は前年同四半期を上回りました。

これらの結果、売上高904百万円（前年同四半期比42.3%増）、セグメント利益158百万円（前年同四半期比127.0%増）となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的としたイベントの開催制限・自粛が続く中、事業の大部分を休業している状態が続いております。

現場対応に必要な人員のみ確保したうえで、企業の株主総会案件や医学系学会案件の獲得、ライブ配信関連の需要の取り込みに努めました。コンサート市場を中心にライブ配信の動きが活発化しつつありますが、要となる大型スピーカーやLEDディスプレイ等の機材が十分に稼働しておらず、1案件当たりの単価は低い水準となっております。

これらの結果、売上高1,302百万円（前年同四半期比80.6%減）、セグメント損失2,495百万円（前年同四半期はセグメント利益1,022百万円）となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高83百万円（前年同四半期比76.4%減）、セグメント損失23百万円（前年同四半期はセグメント利益53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は32,421百万円となり、前連結会計年度末と比べて962百万円減少しました。現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金並びに仕掛品が減少したことが主な要因であります。

負債合計は24,083百万円となり、前連結会計年度末と比べて982百万円増加しました。支払手形及び買掛金が減少したものの、短期借入金及び長期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は8,338百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,945百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び株主配当により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響度合いを適正かつ合理的に見積もることが困難であることから、2021年3月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき公表いたします。

(業績予想について)

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的としたイベントの開催制限・自粛等により、当社グループのさまざまな事業活動が多大な影響を受けました。第3四半期以降も厳しい経営環境に変わりはありませんが、コンサート・イベントは再開に向けて動き出しており、引き続き緊縮経営を徹底することで、赤字幅の拡大を抑えられると見込んでおります。

これらを踏まえ、売上高31,000百万円（前連結会計年度比24.1%減）、営業損失3,800百万円（前連結会計年度は営業利益1,267百万円）、経常損失2,800百万円（前連結会計年度は経常利益1,428百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失2,300百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益694百万円）を予想しております。

(配当予想について)

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、経営体質を強化するために必要な内部留保と成果配分とのバランスを勘案しながら、安定配当を継続していくことを基本方針としております。

当連結会計年度は、厳しい業績が予想されるものの、上場来一度も無配としたことがなく、安定配当を継続していくという考え方から、1株当たり中間配当5.0円、期末配当予想5.0円（年間配当予想10.0円）とさせていただくことといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,807,495	5,269,989
受取手形及び売掛金	9,004,688	4,563,781
商品及び製品	3,714,141	3,866,486
仕掛品	2,155,644	1,587,115
原材料及び貯蔵品	72,661	89,824
その他	1,500,409	2,131,835
貸倒引当金	△56,396	△52,141
流動資産合計	19,198,645	17,456,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,279,906	2,579,679
減価償却累計額	△1,361,572	△1,376,122
建物及び構築物(純額)	918,333	1,203,557
機械装置及び運搬具	16,384,918	16,770,414
減価償却累計額	△11,883,748	△12,664,057
機械装置及び運搬具(純額)	4,501,169	4,106,357
工具、器具及び備品	1,871,302	2,105,166
減価償却累計額	△1,495,959	△1,516,810
工具、器具及び備品(純額)	375,342	588,355
リース資産	1,701,928	1,737,208
減価償却累計額	△788,229	△794,245
リース資産(純額)	913,699	942,962
その他	1,713,495	1,688,805
有形固定資産合計	8,422,040	8,530,039
無形固定資産		
のれん	2,277,661	2,121,270
その他	482,156	428,401
無形固定資産合計	2,759,817	2,549,671
投資その他の資産		
その他	3,027,515	3,908,155
貸倒引当金	△23,774	△23,295
投資その他の資産合計	3,003,741	3,884,860
固定資産合計	14,185,599	14,964,571
資産合計	33,384,244	32,421,464

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,900,894	1,966,191
短期借入金	2,330,000	3,844,558
1年内返済予定の長期借入金	2,628,416	2,951,510
リース債務	338,557	349,565
未払法人税等	356,656	231,530
前受金	2,034,816	2,376,488
賞与引当金	754,103	454,716
資産除去債務	109,556	109,556
その他	1,473,733	1,567,972
流動負債合計	13,926,732	13,852,089
固定負債		
長期借入金	5,966,152	7,000,518
リース債務	659,319	663,076
退職給付に係る負債	2,286,650	2,309,267
資産除去債務	98,632	98,898
その他	163,676	159,538
固定負債合計	9,174,431	10,231,298
負債合計	23,101,164	24,083,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	1,981,767	1,981,767
利益剰余金	6,627,807	4,774,013
自己株式	△166,027	△265,961
株主資本合計	10,192,202	8,238,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,002	9,494
繰延ヘッジ損益	2,975	△935
為替換算調整勘定	△77,579	△81,704
退職給付に係る調整累計額	37,511	36,790
その他の包括利益累計額合計	△30,090	△36,354
非支配株主持分	120,968	135,955
純資産合計	10,283,080	8,338,076
負債純資産合計	33,384,244	32,421,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,220,939	12,521,882
売上原価	12,400,617	9,987,950
売上総利益	6,820,321	2,533,932
販売費及び一般管理費	6,043,099	5,551,773
営業利益又は営業損失(△)	777,221	△3,017,841
営業外収益		
受取利息	3,188	1,954
受取配当金	6,046	2,683
為替差益	-	11,235
助成金収入	-	681,668
保険解約返戻金	54,898	43,795
その他	36,266	107,192
営業外収益合計	100,399	848,529
営業外費用		
支払利息	45,501	41,161
支払手数料	320	9,669
為替差損	68,293	-
その他	2,657	14,770
営業外費用合計	116,773	65,601
経常利益又は経常損失(△)	760,848	△2,234,912
特別損失		
事務所移転費用	-	16,875
特別損失合計	-	16,875
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	760,848	△2,251,788
法人税等	369,997	△589,725
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,851	△1,662,062
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,741	17,439
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	400,593	△1,679,502

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,851	△1,662,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,176	2,491
繰延ヘッジ損益	177	△3,910
為替換算調整勘定	△107,943	△2,533
退職給付に係る調整額	△323	△720
その他の包括利益合計	△99,912	△4,673
四半期包括利益	290,938	△1,666,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309,037	△1,685,767
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,098	19,031

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式71,600株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が99,933千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が265,961千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	7,457,788	4,064,453	635,590	6,709,924	353,181	19,220,939	-	19,220,939
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	67,293	2,200	54,058	90,525	20,458	234,535	△234,535	-
計	7,525,082	4,066,653	689,649	6,800,450	373,639	19,455,475	△234,535	19,220,939
セグメント利益 又は損失(△)	△60,173	331,737	69,878	1,022,393	53,969	1,417,806	△640,584	777,221

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△640,584千円には、セグメント間取引消去38,220千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678,805千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	6,691,700	3,539,930	904,539	1,302,338	83,374	12,521,882	-	12,521,882
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	53,970	157,520	93,538	63,305	121,854	490,188	△490,188	-
計	6,745,670	3,697,450	998,077	1,365,643	205,229	13,012,071	△490,188	12,521,882
セグメント利益 又は損失(△)	△251,537	93,695	158,652	△2,495,177	△23,423	△2,517,791	△500,049	△3,017,841

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△500,049千円には、セグメント間取引消去80,543千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△580,592千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額により組み替えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。